

薪ストーブのある家。

薪ストーブ。
大志くんのお友達とご家族。



山と緑のものごと。



外からの風景。



外観大屋根から夜間が...



大きく開放的なデッキ。



トイレ。



月刊誌「暮らしと建築」
「やっばりOMの家」P38〜P41掲載



和室。



薪ストーブも素敵なインテリア。

の 豊かな田園風景。周辺にはなだらかな山々が見え、田んぼの収穫後の秋から冬へと変わりつつある風景を見ながら、道沿いを車で移動していると、ぱっと飛び込んできたお家がT様のお家でした。

大きな屋根には、OMソーラーのパネルと煙突が空に向かっています。近づくにつれて家の全体が見えてきました。大きなデッキに大きな開放された窓。周辺の風景になじんでいる家の落ち着いた感じからは、心地いい存在感が伝わってきます。

こ んにちは「外でお庭の手入れをさせていたおじいちゃん」にお声をかけました。

おじいちゃん「まだ、庭ができてないけんね」「この先、駐車場も小屋も作らんとね」と、お話をしながら、お家の横にある畑に、里芋、ねぎなどこれから冬野菜が作れるように苗が植えられ、畝が綺麗に耕されていました。

玄 間を入るとすぐに、薪ストーブが目に入ります。薪ストーブの周りにはタイルが敷き詰められ、薪もひとつのインテリアに見えます。まるで、おしゃれな雑貨屋さんにごいびりを飲みきたような感じがします。ダイニングキッチン、リビングは大きな吹き抜けになっています。天井を見上げると、OMソーラーのあたためた空気が循環できるように、シーリングファンが設置してあり、大きな窓は福岡競馬場と同じものを使用

されています。奥様は「もちろん金額がはったけど、がんばった甲斐がありました」にサッシは、開放感でもロケットできるすぐれものです。部屋の仕切り、引き戸、ドアは全部格子戸に統一されています。

木 の家を更に引き立たせていたのが、インテリアです。奥様が気に入ったショップで購入されるそうですが、ひとつひとつがそれぞれの部屋にさりげなく配置され、部屋を引き立たせています。

ご夫婦「お家のこだわりは、山小屋風にしたところ。じっくり二年をかけたんです。安成さんでよかったと思うことはたくさんで、本当にお世話になりました。何故も何故も打合せを重ね、出来上がった家です。実は同じ時期に家を建てた方が3人おられ、うちが一番最後に建ちあがったんですけど、我が家がいちばんです。他の方たちが、どこで建てたの？とか、最初に建ててはよかったなど、その言葉は心に刺さったんですね」

ひ とつ、ひとつに無駄なく、丁寧な仕上がりの「木の家」に、こだわりのある暮らしが「ご家族にぴったりでした。大志君のお友達が遊びに来られていて、終日楽しい声が聞こえていました。取材も終わる頃、やっと散歩に連れて行ってもらえると、わんちゃんが大喜び。おじいちゃん、いつまでもお元気で。また、お庭ができたからお声をかけてくださいなね。」

お友達といっしょにくつろいでます。
猫もはすんでー。

設計者コメント 納富友紀子(福岡市・福岡支店、現在・北九州支店)
T様には福岡の展示場をとても気に入って頂きました。展示場ができて以来、一番影響を受けたお家だと思っています。T様のセンスの良さが加わりとても感じ良かったですね。白シャツにジーンズのさわやかなご主人と、山で暮らさずともすぐに自然が作り出すようなセンスの良い奥様。アウトドアがびっぴりで仲の良いご家族でした。甘んじられた大志君ももう中学生ですね。こんなお家で成長できるなんてうらやましいです。転勤以来ご無沙汰していますが、是非早急に来てお家遊びに行かせて下さい!

